



瑠璃玉アザミ

## 第1564回例会報告

平成30年 8月 23日 (木) 晴れ

### 会長告知

会長 北原 厚子

#### 「処暑」



### ★幹事報告

#### 【報告事項】

1. 理事会報告
- ・9月6日クラブ会報・雑誌広報委員会担当例会原案通り実施。
- ・9月13日国際奉仕委員会担当例会原案とおりに実施。
- ・9月20日ガバナー訪問例会原案通り実施。例会終了後
- ・写真撮影がありますので100%出席において上着初タイ着用
- ・9月27日社会奉仕委員会担当例会原案通り実施。
- ・9月30日社会奉仕委員会担当諏訪市岡谷市湖上観察会実施。
- ・クラブのウインドブレーカーを作ります。全員のお買い上げをお願いします。担当会長幹事

#### 【連絡事項】

1. 10月14日地区大会(伊那) 多くの登録をお願いします。
2. 次回例会時に出席を回します。
3. 米山秋季例祭が9月15日にあります出席される方は幹事まで申し出てください。

#### 【受領文書】

1. 高山年度の最終月信がメールにおいて届きました回覧します。
2. 米山ニュース回覧します。
3. コミュニティーニュース回覧します。

本日は児童養護施設つつじが丘学園 園長先生であります川瀬勝敏様をお迎えして卓話をいただきます。楽しみにしております。川瀬先生よろしくお願いたします。

さて、今日8月23日はカレンダーに「処暑」と記されておりました。お恥ずかしいのですが、「処暑」って何だろうと思い調べましたら、「処暑」は、二十四節気の第14番目。

二十四節気とは、1年を季節毎に二十四等分したもので農作業では今も使われているようです。処暑が表わすものは「夏の終わり頃」です。処暑の前の二十四節気は立秋で今年は8月7日でした。暦の上では立秋から秋へと移行していき処暑のころに、だんだんと暑さが納まるとされています。処暑はその年によって違いますが、2018年の処暑は8月23日今日です。秋へ向かっているとはいえ、まだまだ暑さは続いています。どこかに秋の気配を感じて、私は少し物悲しい気持ちになります。

さて、会員増強月間も終盤となりましたが、その後、一人声掛け運動の手応えはいかがでしょうか。私も二人にお声をおかけしたのですが、まだまだ、残念なことに、ロータリーがどういう団体でどんな奉仕活動をしているか十分に理解されていらっしゃる方は多くありません。自分自身ももっと自信をもって説得できるよう勉強しなければと反省しました。先日 夫が諏訪湖ロータリークラブの認証状伝達式の記録を見せてくれました。皆さん若かったですね。平均年齢は55歳。来年35周年を迎える諏訪湖ロータリークラブですが、創立当時30人でスタートし、第9期では65名に会員を増やし、その後は残念なことに会員数の減少が続き今に至っています。10年後、20年後にクラブをつなげていくのには、会員増強の努力を欠くことはできません。会員増強は永遠のテーマかもしれませんが、自分たちの歩んでいく先を見据えた奉仕の内容やそれにふさわしい人材を増強することが必要となってくるでしょう。今の若者も単に年齢が若いというだけではなく、新しい情報を持っている。そんな素晴らしい気概を持つ若者が一人でもわがクラブに入会して下さるよう、今年度、小口委員長をリーダーに若い世代の方々に会員増強特別委員会のメンバーになっていただいております。私たちも引き続き声掛けをし、若い世代の方には新しい情報・ネットワークを活用した会員増強活動を期待します。これからも引き続き一人声掛け運動にご協力をお願いいたします。

出席報告	ニコニコBOX	今週のことば
会員数 38人	5名 8000	本日は川瀬先生をお迎えして卓話をお願い致しました。 楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。北原 厚子 川瀬先生本日は諏訪湖マラソンにようこそいらして頂きました。 講演楽しみにしております。 青少年奉仕委員長 小笠原仁 今日も元気です。 大澤 邦彦
出席対象 38人	累計 134,000	
出席者数 30人	目標額 60万円	
出席率 78.9%	達成率 22.3%	
前回修正 76.3%		

## 青少年奉仕委員会 担当例会

～家庭から離れて施設で暮らす子どもたち～

一般財団法人 長野県児童福祉施設連盟常務理事  
 つつじが丘学園園長 川瀬 勝敏 様



子どもの養育における社会的養護の役割・つつじが丘学園で暮らす子供達を通して今、子供達に何が起きているのか。

また、つつじが丘学園としてのあゆみや取り組みについてもお話を頂きました。



### 子どもの養育における社会的養護の役割

- ① 子どもの養育の場としての社会的養護  
適切な自己イメージの形成＝生きるための自信
- ② 虐待等からの保護と回復  
虐待は「大切にされる体験」を奪い、「安心感」や「自信」を獲得することを妨げる。→  
安心で信頼できる「おとなモデル」を提供する。
- ③ 世代間連鎖を防ぐために  
親の中では「自分が子どもの時期にその親から虐待を受けた経験を持つ場合が少なくない」
- ④ ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）  
様々な生きづらさを抱える家族→当事者の声聴く。

### 現代のニーズ

- ・福祉は困窮対策から始まった・・・  
現代は一人親家庭・子どもの貧困・・・
- ・子どもは地域で育てるもの  
子育ての孤立化、情報の渦・・・
- ・子ども食堂や子どもの居場所づくりが意味するものは？

### これからの児童養護施設の役割

- ◎ 子どもの保護と自立という施設本来の機能の充実（入所児童の質の変化、児童福祉から子ども家庭福祉へ変化に対応する）
- ◎ 地域の子育て支援における中心的な役割をして妊娠出産から自立までを支えるネットワーク作り（過去の地域における大家族的子育てが無くなる中で、お互いの成長を見守り助ける役割を児童養護施設が担う）
- ◎ 地域の子育て力の再構築に携わる（そのノウハウは児童福祉施設はすでに持っている自信を持つこと）